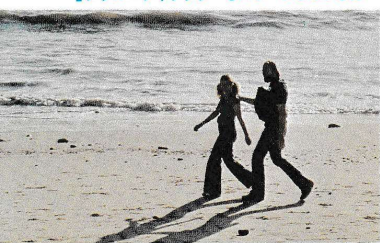


健康的なカリフォルニアのスポーツ人間が集まる街サンタモニカ ウィークエンドには海辺のレストランへ

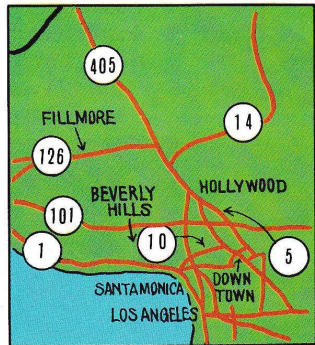
ロサンジェルスからサンタモニカFWYに乗って約20分、潮の香が漂うサンタモニカ・ビーチに出る。太陽がいっぱいのウィークエンドともなると健康的なカリフォルニア人が海辺に姿を現わし、あっという間に砂浜を埋めつくす。バレーボールを楽しむグループやジョギング、サイクリング、サーフィン他、およそ考えられるスポーツは何でもこの砂浜で見かけることができる。カリフォルニアのパワフルなスポーツマンたちは砂浜を「アリーナ」にかえてしまうんだ。



↑メタル・ディテクターもスポーツなのかなあ



↑昼下がりのひととき、散歩を楽しむカップル



金曜日の夜、一杯やりすぎでようやく昼頃眼を覚ましたらしいカップルが、見晴らしのいい海辺のレストランでちょっと遅いランチを楽しんでいる。2人ともジョギング・パンツとトレーナー姿で、2杯目のブラッディ・マリーに手を伸ばす。

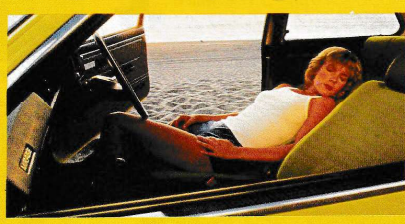


↑サンタモニカの海辺をレンタ・サイクルで走る

ワンルーム志向の車が一台くらいあってもいいな……

部屋の中で自分なりの生活の質を問題にする生き方、それがワンルーム主義。その生き方の延長として生まれたのが、ミラージュの室内空間。有効スペースの広さはもちろん、素材のひとつひとつまで十分に凝っている。スペースのムダは絶対に許さない。しかし材質は徹底的にぜいたく

をしよう。アメリカの若者たちのライフスタイルもこれが基本になっている。



↑釣りはいま、アメリカにあるスポーツの中でも最もポピュラーなスポーツだといわれている



↑ボールがひとつあれば老若男女だれにでも楽しめるので人気があるバレーボールは、ここでも大人気だ



かつて、数多くのミス・インターナショナルを生んだ街 ロングビーチはロサンジェルスから25マイル

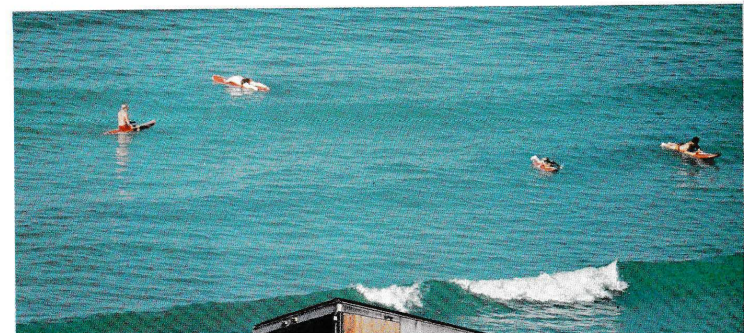
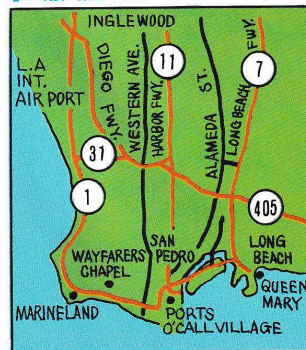
ロングビーチ・フリーウェイを約30分も走ると、大英帝国のシンボルとして、七つの海を航海していた大豪華船、クイーン・メリー号が見えてくる。Pier Jに錨を下ろしたクイーン・メリー号は、ホテル、会議場、ギフトショップ、レストラン、そして浮かぶ博物館として観光客を集めている。また、ヘリコプターも飛んでいて、空から美しい船体を見ることがもできるのだ。市民海岸はきちんと整備され、更衣室、シャワー、レスト・ルームなどの設備が整っており、コーストガードが常に眼を光らせているので、安心してサーフィンを楽しむことができる。



↑世界一のヨット・ハーバー、マリナデルレイ



↑J埠頭に緊繫されているクイーン・メリー号



↑波を待つサーファーでいつもいっぱい



↑スケールがでかいアメリカの露店

↑ガッツが全てのスケボー・キッズ



↑これがいまウエストコーストに雨後のタケノコのように増えつづけているスケートボード・パークだ

